

JVC

# 原音を追求した、ウツドの高き表現力。

JVCのインナーイヤーヘッドホン「ウツドシリーズ」に3つの新モデルが登場。ハイレゾ音源を忠実に再現し、圧倒的な音場空間を創造する。

宇田川 淳・写真 photographs by Jun Udagawa 高野智宏・文 text by Tomohiro Takano 石岡叔史・スタイリング styling by Toshihumi Ishizaki

CDの約3〜6.5倍もの情報量をもつ、原音に限りなく近い極めて高品質な音源、ハイレゾ（ハイレゾリユージュン）高解像度音源が話題だ。

昨今、ハイレゾ音源を専門とする複数の配信サイトがサービスを開始。また、コンテンツの充実に伴い対応する各種オーディオ機器も続々登場と、音楽市場に活況をもたらしている。

となれば、当然出てくるのがモバイル環境においてもその高音質を楽しみたいというニーズ。提案したいのが、JVCが誇るインナーイヤーヘッドホン「ウツドシリーズ」の新モデルだ。

## 新たな木製パーツ搭載で、原音に迫る高音質を実現。

初の「ウツドシリーズ」が発売されたのが2008年のこと。「原音探究」を基本理念とするJVC（ビクター）は、あらゆる素材の中から木がもつ優れた音響特性に着目。木を振動板に用いた世界初のヘッドホンは、素材特有の美しい響きとナチュラルなサウンドで高い評価を獲得する。その後、より量感を増し臨場感を高めた音質を実現した上位機種で、その名声を確立するにいたったのだ。

そしてこの度、満を持してリリース



美しい木目をもつハウジングとメタルパーツの輝きを調和させた上質なデザインは、こだわりをもつ大人の男の装いにも違和感なくその存在を溶け込ませる。

された3タイプの新モデルには、その理念と木の秘めた力をさらに追求し、革新的音響技術が贅沢にも宿された。

新開発のウツドパーツを振動板だけでなく細部の最適な場所に複数配置し、さらなる音質の向上を図った。この小さなハウジングの内部に、精密加工を施した超小型のウツドパーツを従来機以上に搭載している。その結果、滑らかで楽器のような美しい響きと自然な音の広がりを余すことなく表現することに成功したのだ。

そのサウンドはまさしく至高。ハイレゾ音源はもろろんのこと、すべての音源が内包する壮大な奥行き感や豊かな余韻など、アーティストやエンジニアが込めた音への想いを、圧倒的な臨場感で忠実に再現する。

もちろん、初代から踏襲されブラッシュアップされた本体デザインも秀逸。自然が生んだ美しい木目と、硬質な輝きを放つメタルの組み合わせが醸し出す上質な雰囲気は、テラーードのジャケットやスーツなど、洗練の装いにも馴染む大人の男好みのルックスだ。

原音を探究し、さらに進化した「ウツドシリーズ」。木が奏でる美しい響きは、聴く者に本当の音を教えてくれることだろう。

ハイレゾ音源対応の、美的な新「ウツドシリーズ」  
「ウツドシリーズ」にラインアップされた3つの新モデル。ハイレゾ音源に対応する、その美しい響きと自然な音の広がりのバリエーションを販売店で体感して欲しい。上：伸びやかなボーカルの再現力と豊かな音場空間を創造する「HA-FX650」オープン価格(実勢価格¥20,000前後)中：奏者の位置が目に見えような、圧倒的な臨場感を表現した新シリーズの最上級モデル。コードが着脱できる「HA-FX850」オープン価格(実勢価格¥40,000前後)下：ステーションの奥行きを感じさせる、立体的で緻密な表現力を獲得した「HA-FX750」オープン価格(実勢価格¥30,000前後)

●協力/カフリンクス¥6,300/エリザベス パーカー、PCグラス¥4,200/ブリッラ ヘル イル グスト(ともにビームSF ☎03-3470-3946) タイ¥9,450/フェアファクス(フェアファクスコレクティブ ☎03-3497-1281)